

Windbell

Original Song '77 ~ '79

Member

Guitar : Fujio Akazawa

Guitar : Yasuyuki Morita

Piano : Yuka Ohno

Recording

Windbell Studio (Ohno's house)

1. 風鈴

作詞作曲・赤沢富士男

散りばめた星空のもとで
花火が花を開く
あなたと歩いた境内で買った風鈴
夜風に音色がとてまよく似合っていた

私の座る窓辺には あの日の風鈴が
秋風に吹かれて 残っている

舞い散る落ち葉を見てる
紅葉はとうに過ぎ
秋風よりも木枯らしといった感じ
その風とともにあなたの想い出も去る

いつかあなたと聞いた あの日の風鈴も
木枯らしに吹かれて 震えている

私の座る窓辺には 夏の忘れ物
秋風に吹かれて 震えている

Vocal : F.Akazawa

2. 風が運んだラヴソング

作詞・森田康之 / 作曲・赤沢富士男

お気に入りの歌を聴きながら
君が入れたコーヒーを飲む
僕はギターを弾いている
君が突然歌いだす

君はステキなドレスを着て
僕はいつものジーンズ履いて
そっと君の手を取れば
ちょっと気取って踊り出す

言葉にならない幸せが
漂うこの部屋を
風が運んだラヴ・ソング
静かに流れてる

日の出を見ようと窓辺にもたれ
窓の外は何も見えない
夜明けはまだ来ないのに
目覚めたときのごあいさつ

言葉にならない幸せが
漂うこの部屋を
風が運んだラヴ・ソング
静かに流れてる

Vocal : Y.Morita

3. サンセット

作詞・森田康之 / 作曲・赤沢富士男

夕陽の色は寂しさ色ね
あなたの横顔
真赤に染めてゆく

こんな時私はどうすればいいの
黙って潮風に吹かれているだけです

波の音は哀し過ぎるね
海鳥たちも
寝床へ急いでいる

こんな時あなたは何を想っているの

ただ暮れゆく空を見ているだけです

私とあなたはサンセット
2年の日々は
沈む夕陽にも似て

こんな時私はどうすればいいの
黙って涙をこらえているだけです

Vocal : F.Akazawa

4. 龕燈堤燈 (がんどうぢょうちん)

作詞作曲・赤沢富士男

あなたの好きな侍映画
今日はひとりで観ています
どちらかと言えば私は
ギャング映画のほうが好きだった

だけどあなたが好きなんだもの
私は黙ってついて行ったわ
いつもあなたのそばにいれば
私はそれだけで幸せだった
もう昔話…

いつか京都に出掛けた時
あなたは映画村に誘ってくれた
どちらかと言えば私は
嵯峨野のあたりでふたりの想い出

だけどあなたの晴れやかな笑顔に
雲がかかって欲しくないから
いつもあなたのそばにいて
幸せになりましたから
もう夢なのね…

去年のいま頃あなたは私に
やっと言ってくれましたね
だけどあなたはあの日のあの時
私の前で倒れて落ちた

映画村で見た撮影の時に
落ちて消えた龕燈堤燈
いつもあなたは教えてくれた
人生は暗闇のようなものだ
あなたはもういない…

前しか照らせない龕燈堤燈
みんながそれぞれに持っている
だから時々後を見なさい
失った愛が残っている
そして、それが人生…

Vocal : F.Akazawa

5. 明日も涙

作詞作曲・赤沢富士男

私のことなどもう忘れて
いい人見つけて下さい
あなたはいいい人だったわ
けれどももう会えない

幸せを求めている時が
一番幸せなのだと
あなたが言っていたわ
いま頃、その言葉が身に沁みる

あなたに会えない会えば辛くなる
いまでもあなたが好きだから
明日になれば私は汽車の中
遠い国へ行くのよ

別れのわけはいま言えないわ
ただど許して欲しいの
あふれる涙はそのままでもいいわ
未練が残るから

想い出は眩しすぎて
あまりにも悲しみ誘うわ
二度と会えない恋に振り向けば
明日もまた涙

Vocal : Y.Ohno

6. とってもとっても長い唄を

作詞・森田康之 / 作曲・赤沢富士男

歌ってる時が とても楽しそう
どことなく寂しげな 恋人よ

僕はいつまでも 聴いていてあげるよ
素敵な君の 歌を

とつても とつても 長い唄を
とつても とつても 長い唄を

Vocal : F.Akazawa & Y.Morita

7. 人間なんて

作詞作曲・赤沢富士男

ひとを愛し別れを告げた
俺のあの娘の涙が光る
その涙を拭こうとせせずに
ただ風に吹かれて

人間なんて 人間なんて
悲しみに出逢うとすぐうつ向いてしまう
人間なんて 人間なんて
その時空の青さを忘れてしまう
みんな それぞれに
夢を持っているはずなのに

俺の愛するひとに告げた
俺は君に惚れちまった
そしてそのひとは言った
私にはもう彼氏がいます

人間なんて 人間なんて
悲しみに出逢うとすぐうつ向いてしまう
人間なんて 人間なんて
その時やはり誰か欲しい
ひとは それぞれに
温かい言葉を待っているから

人間なんて 人間なんて
悲しみに出逢えば温め合えばいいさ
人間なんて 人間なんて
涙を流せば拭いてやればいいさ
ひとは ひとりだと
弱いことを知っているから

Vocal : F.Akazawa

8. 遠い夏の面影

作詞・大野結花 / 作曲・赤沢富士男

行く夏にかけた青春
潮騒とともに遠ざかる
人で賑わうこの海岸も
貝殻だけの季節になる頃
あなたはこの島 遠ざかる

白い舟の影だけが
残る海岸で
いつも夢見た日は
遠い夏の面影

波の間に広がる世界
私と海の内緒話
夕風の頃この海岸に
人影のなくなる季節には
あなたは都会の ひとかけら

白い舟の影だけが
残る海岸で
いつも夢見た日は
遠い夏の面影
潮騒の音に光る
貝殻拾い
耳に当てた日は
遠い夏の面影

Vocal : Y.Ohno

9. 旅って奴は

作詞作曲・森田康之

ギター片手にゆっくりと
歩くこの道 遥かな道
今まで歩いた道に落とし穴は
なかったかなんて見渡しながら

ゆうべはタバコ屋のおばちゃんが
「寒いだろう、ってお茶出してくれた
今朝は仲良ぐ散歩の老夫婦
「気をつけて」と声かけてくれた

見知らぬ人とのあったかい交わり
こんな世界があったのか
旅って奴は 自分を見つけてくれた

初めて会う人とのやさしい微笑み
こんな世界があったのか
旅って奴は俺に情けを与えてくれた

見知らぬ人とのあったかい交わり
こんな世界があったのか
旅って奴は 自分を見つけてくれた

本当に旅って奴は
本当に旅って奴は

Vocal : Y.Morita

10. 影身

作詞作曲・森田康之

今はひとりこうして
海に沈む夕陽と
寄せてはかえず波に

すべてをまかせて
思い出という世界を
訪ねてみよう

あの日はこうして
貝殻耳に当てて
またくる夏の日を
ひとつの物語風に
ポツリポツリと
僕に話し出した

あの日赤い夕陽が
君の心に沈んだ
君の影が消えて
僕の夢は止まった

返す言葉もなく
目を凝らした僕に
君は別れの言葉
波にかき消され
思い出という世界が
目の前を包む

あの日赤い夕陽が
君の心に沈んだ
君の影が消えて
僕の夢は止まった

今はひとりこうして
海に沈む夕陽と
寄せてはかえず波に
すべてをまかせて
思い出という世界に
別れを告げよう

あの日赤い夕陽が
君の心に沈んだ
君の影が消えて
僕の夢は止まった

僕の涙の海に
赤い夕陽は沈んだ
あの日の夢は止まり
僕の影は消えた

Vocal : Y.Morita

11. 街は東へ

作詞作曲・赤沢富士男

いつも恋を求めていた奴と
寂しさ食べていたあの娘の
行方は何処だと偉そうに言っていた
男が姿を消した

受験地獄を生きてる学生を
可哀相な奴だと言っていたアイツ
それでも地球は回っていると
ガリレオの吐いた言葉

街は西から東へ 時の流れに
合わせて回るよ 東へ東へ
助け合って生きてる人々が
あまりにも小さく見える

いつも旅に出たいと言っていた
いつも哀しい顔して言っていた
旅することが幸せへの道へ
続くとは思わないけど

時の流れ心で数えらと
旅立つ夏の静けさの中で
公園の木はいつの間にか
赤や黄色に染まる

街は西から東へ 時の流れに
合わせて回るよ 東へ東へ
懐かしいあの頃の声
振り向けばまた歩きたい
振り向けばまた歩きたい

Vocal : F.Akazawa

12. 気づかなかったあの頃

作詞・森田康之 / 作曲・赤沢富士男

君がいた頃は 僕のこの部屋も
きれいな花が 飾られていたのに
君といた頃は 僕の心の中に
新しい何かが めぐりめぐっていた

ああ 今は君のやさしさに
気づかなかったことを
う；後悔しながら
僕の部屋を片付ける

雨がしとしとと 僕の肩を濡らしてる
君の残した 傘を片手に持って
やがて街の灯りが 宵闇を誘う
時の流れが 僕を追いかける

ああ 今は君のやさしさに
気づかなかったことを
う；後悔しながら
ひとり街を駆けてゆく

ああ 今は君のやさしさに
気づかなかったことを
う；後悔しながら
ひとり街を駆けてゆく

Vocal : Y.Morita

13. 二人の部屋

作詞作曲・赤沢富士男

私の入れたコーヒーを飲み乾して
あなたはタバコをふかしている
私のコーヒーは湯気を上げて
紫の煙とステキな共演

あなたは何も言わないけれど
私には分かります
もうあなたのためにだって死ねます

やさしい光カーテンの隙間から
あなたの背中で踊っている
冷たい北風の吹く季節
それでも温かいステキな心

あなたのどんな仕草さえも
私には分かります
もうあなたのためにだって死ねます

あなたの好きなレコード聴きながら
あなたの想い出回っています

あなたのレコードの上を走る
懐かしいあなたのステキな横顔

あなたのどんな想いも
私には分かります
もうあなたのためにだって死ねます

Vocal : Y.Ohno

14. 朧月(おぼろづき)

作詞作曲・赤沢富士男

明日あなたに会える
最後の日ですね
こうしてあらためて
鏡の前に座っています
3年の歳月を
“思い出”というアルバムにつめて
“愛”というタイトルを
きれいに綴りたい

もう春なのに 何なのでしょう？
あなたとの別れ どうしてでしょう？
今は春 ああ暗い夜

私探しています
最後の言葉を
心に温めて
あなたの前に置いてゆくため
どうしてか今まで
秘めてた愛を告げられずにいて
別れを受け入れる
自分が哀しい

もう春なのに 何なのでしょう？
あなたとの別れ どうしてでしょう？
今は春 ああ朧月

明日あなたに会えば
私は涙流すでしょう
そして思わず
あなたの胸で告げるでしょう

もう春なのに 何なのでしょう？
あなたとの別れ どうしてでしょう？
今は春 ああ朧月
今は春 ああ朧月

Vocal : F.Akazawa

15. 卒業(わかれ)

作詞・森田康之 / 作曲・赤沢富士男

街ではまだ
冬の名残が残っているのに
暦の上では
もう春なんだね
この季節になれば誰でも
別れを肌で感じているのだろう

君と出逢って 3度目の春とともに
別れが来るなんて
夕焼け空に 心から祈っても
もう 遅すぎる

街ではもう
春物セーターが並び出し

かわす言葉も
温かくなる
だけど若者たちはみんな
暦をめくる手が震えているのだろう

年を数えて 3度目の春とともに
涙があふれるなんて
今日の風は 冷たい向かい風
もう 戻れない

年を数えて 3度目の春とともに
別れてゆくひとたち
懐かしさに おぼれているのは
ああ 若者たち

Vocal : Y.Morita

16. 明日が待っている

作詞作曲・赤沢富士男

男と女がいて
仲良く腕組み歩いている
秋風の中感じるのは
あの娘の吐いた言葉ひとつ
僕は一枚の切符を買い
あてのない旅に出る
窓から見える僕の好きな
海もなぜか泣いている

ひとのいない無人駅
ひとり降りてみた
これが孤独なんだと
あの海に言うと
明日が笑っている
明日が笑っている

どこか一夜を借りよう
この村の酒でも飲んで
宿の人との世間話
少しは心紛れるだろう
こんな田舎にも唄がある
こんな処にも恋がある
生きてる人の涙のあとには
海の香りに似ている

見知らぬひとと何気なく
交わした言葉が
なぜか心に残っている
旅よありがとう
明日が待っている
明日が待っている

Vocal : F.Akazawa

復刻CD版について

当時録音したマスターテープを再生すると間違っ操作したのが、前半の8曲が無音状態になっていました(汗)。
ダビングしたもうひとつテープ(こちらは自分とメンバー用に作成した編集済みテープ)は、「人間なんて」の途中から音が無くなっていました。
つまり、「人間なんて」と「遠い夏の面影」が復刻できない状態になっていたのです(泣)。
なんせ30年近く前に録音したものですからねえ、全部復刻できなくなっても不思議はないと言えばそれまでです。
ふと、10年前にこちらでの知り合いにダビングテープを渡していたことを思い出し、問い合わせてみると「あるよ」とのこと。やったー！。
…ということで、全曲復刻に成功しました。めっちゃ、うれしい。
ただ、知り合いの持っていたテープは、もともと音量が小さかったみたいで、この2曲だけはスライドアップして取り込みました。
そのせいで雑音が耳障りになってしまいました。ご愛嬌と思ってお許しください。
録音自体、当時のカセットレコーダーの内蔵マイクだけで録音したものですから、音質は決していいものではありません。
録音した場所も、市バスの通り道のすぐそばでしたしね(笑)。

